

2017年9月期連結決算

2017年11月1日

MRI 株式会社三菱総合研究所

1. 2017年9月期決算

2. 中期経営計画（成長戦略と財務目標）

3. 2018年9月期業績予想

2017年9月期 連結決算のまとめ

売上高： 894.6億円 前期比 +25.6億円 (+2.9%)

- 官公庁および金融・カード向け売上の増加により増収

経常利益： 62.5億円 前期比 +3.8億円 (+6.5%)

- シンクタンク・コンサル (TTC) の減益を ITサービス (ITS) で打ち返し増益

純利益： 38.3億円 前期比 +4.0億円 (+11.9%)

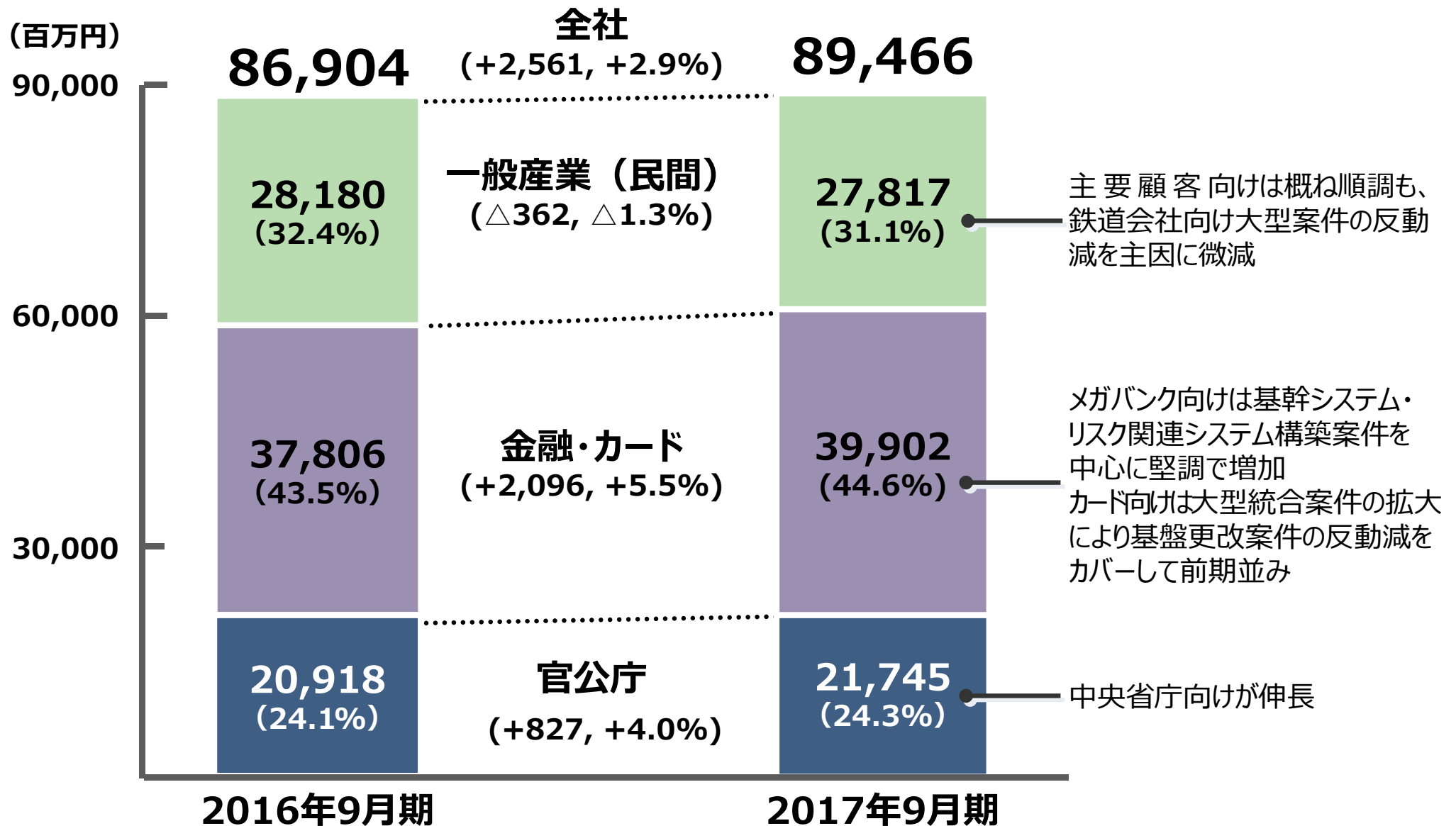
- 過去最高を更新

期末配当を5円引き上げ

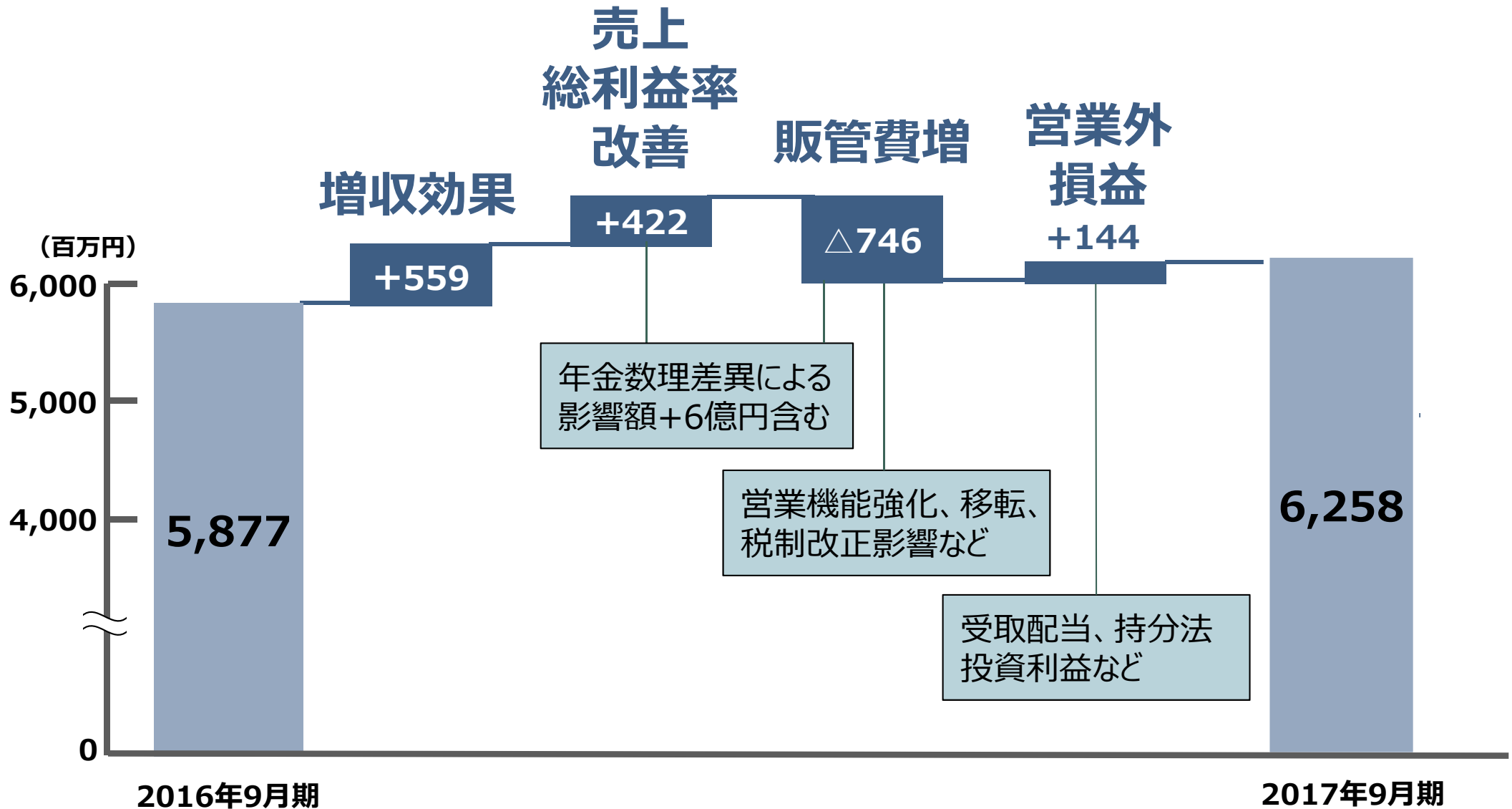
2017年9月期 連結決算 <前期比>

	16年9月期	17年9月期	前期比		公表予想 17/4/27	公表 予想比
			増減額	増減率		
売上高	86,904	89,466	+2,561	+2.9%	90,000	△533
売上総利益	18,987	19,970	+982	+5.2%	—	—
売上総利益率	21.8%	22.3%	+0.5P		—	—
販売費及び一般管理費	13,492	14,238	+746	+5.5%	—	—
営業利益	5,495	5,731	+236	+4.3%	5,800	△68
営業利益率	6.3%	6.4%	+0.1P		6.4%	—
経常利益	5,877	6,258	+380	+6.5%	6,200	+58
親会社株主に帰属する当期純利益	3,425	3,833	+408	+11.9%	3,600	+233
1株当たり当期純利益（円）	208.55	235.08	+26.53	+12.7%	220.73	+14.35
ROE（自己資本利益率）	8.6%	9.1%	+0.5P		—	—

顧客業種別売上高 <前期比>



経常利益の変動要因 <前期比>



シンクタンク・コンサルティングサービス (TTC)

(百万円)

	2016年9月期	2017年9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	33,014	32,730	△284	△0.9%
営業利益	2,734	1,862	△871	△31.9%
営業利益率	8.3%	5.7%	△2.6P	
経常利益	2,875	2,029	△845	△29.4%
受注高	34,185	31,618	△2,566	△7.5%
受注残高	24,145	23,033	△1,111	△4.6%

主なポイント

- 前期大型案件の反動減、金融機関向けリスク関連事業の移管により減収
- 原価・販管費増により、減益
- 受注高は、採算性の低い大型案件の選択と集中により前期比マイナス（実質ベースでは前期並み）

ITサービス (ITS)

(百万円)

	2016年9月期	2017年9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	53,889	56,736	+2,846	+5.3%
営業利益	2,704	3,791	+1,086	+40.2%
営業利益率	5.0%	6.7%	+1.7P	
経常利益	2,931	4,125	+1,193	+40.7%
受注高	54,121	56,260	+2,139	+4.0%
受注残高	36,741	36,266	△475	△1.3%

主なポイント

- 金融・カード向けが堅調、増収
- 増収、年金数理差異等によるプラス効果、販管費抑制で4割増益
- 受注高は、大型システム開発案件が積み上がり、前期比プラス

1. 2017年9月期決算

2. 中期経営計画（成長戦略と財務目標）

3. 2018年9月期業績予想

前・中期経営計画（2015～17）の総括

6年の計

人と組織の 持続的成長



事業戦略

- 構想力 + 提言力の強化
- 現在の強み（公共、金融）の伸長
- 新たな強み（一般、海外）を追加
- 戦略的業務・資本提携

経営改善戦略

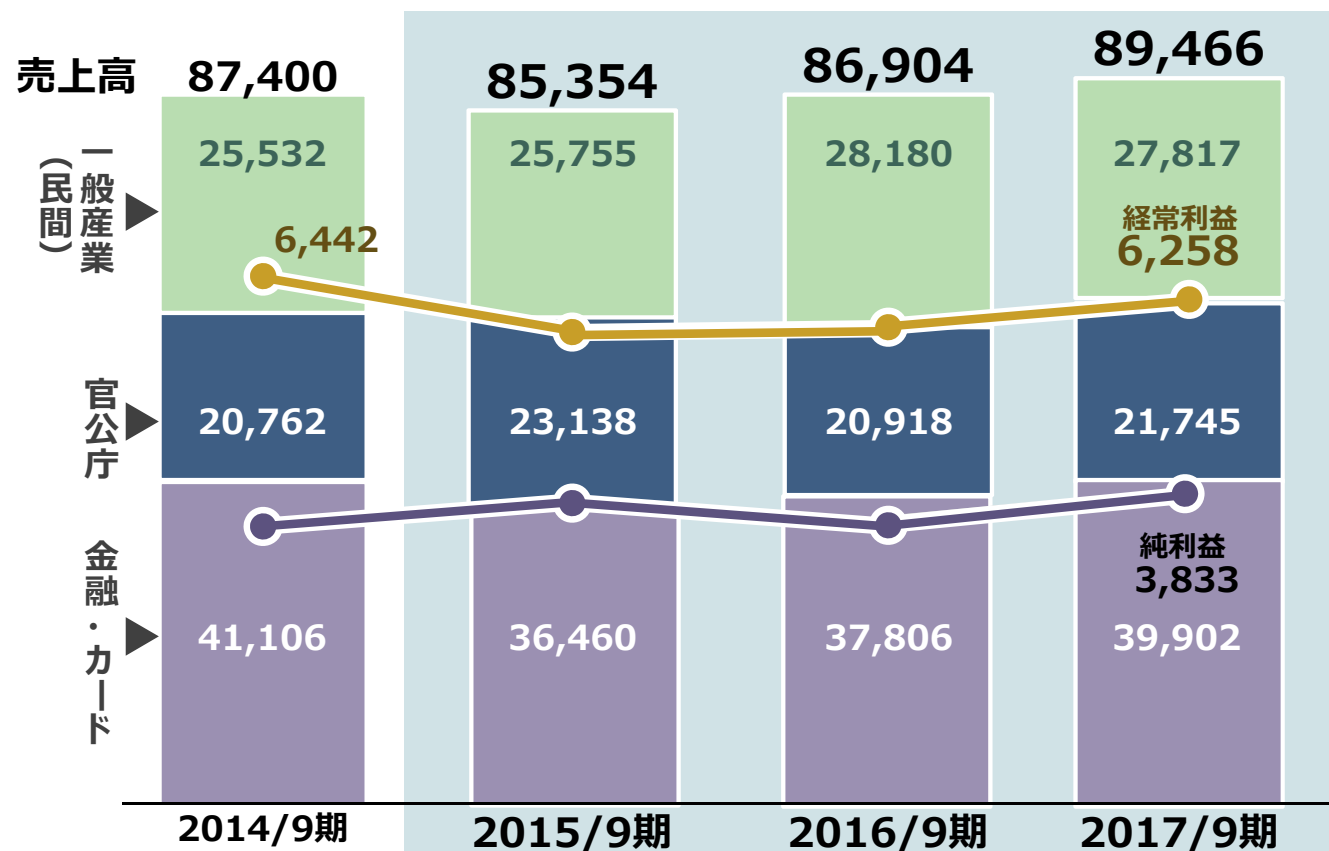
- グループ内コラボレーション推進
- 人財育成・強化、ダイバーシティ推進
- 品質・生産性向上、リスク管理・ガバナンス強化

前・中期経営計画（2015～17）の総括

社会課題を起点とし、新技術を活用したビジネス展開

「新たな強み（民間）」の強化・伸長に課題

研究開発・営業体制を強化、成果顕在化は新・中計



事業環境と事業機会（新・中計の前提）

世界のトレンド

- 低成長・高齢化
- イノベーション（技術・制度変革）
- デジタル技術によるゲームチェンジ
- 政策課題
（経済成長、財政健全化）等

わが国の社会課題

- ヘルスケア・ウェルネス
- エネルギー・環境
- 人財（生産性・流動化）
- 防災、復興、地方創生 等

技術革新

- AI、データ解析、IoT
- ブロックチェーン、セキュリティ
- ロボティクス
- ライフサイエンス
- 材料 等

当社グループの事業機会

① 政策・制度による社会課題解決

② 先進技術を活用した
ビジネスによる社会課題解決

**官民を横断する領域
解決策の実装**

中期経営計画2020

「人と組織の持続的成長」を堅持・継続

(1) 事業ポートフォリオ改革

- 成長期待領域（官民横断・民間・海外）への重点リソース配分

(2) ビジネスモデル改革＝パートナー連携

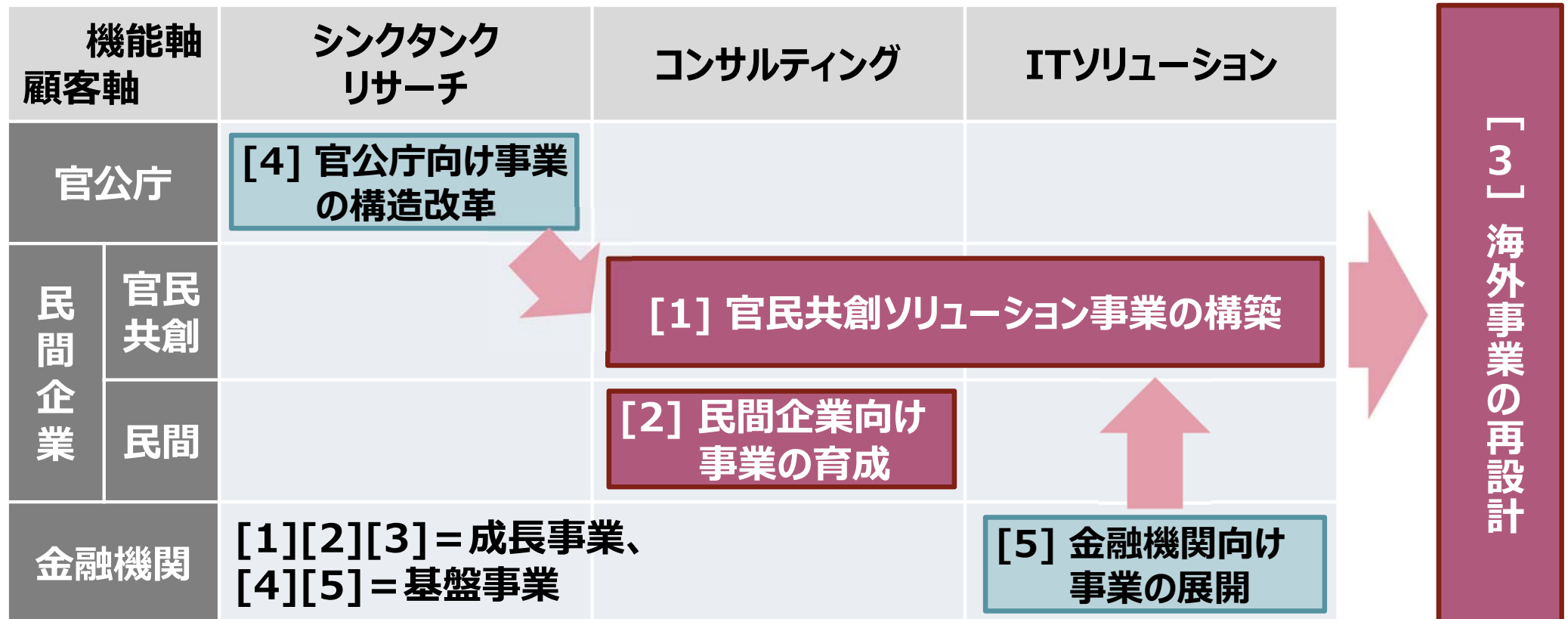
- スケールアップ（ITソリューション・実装まで）＋ストック型ビジネス（高収益率）

(3) 働き方改革

- 人財確保・成長、生産性向上、多様性、イノベーション・価値創出

事業ポートフォリオ（成長と基盤）

- [1] **官民共創**：社会課題を起点に官民横断領域でコンサルからソリューションまで
- [2] **民間企業**：実績と市場性のある分野で新技術や汎用ツールを活用したサービス
- [3] **海外事業**：海外での社会課題解決、日本企業の海外展開支援



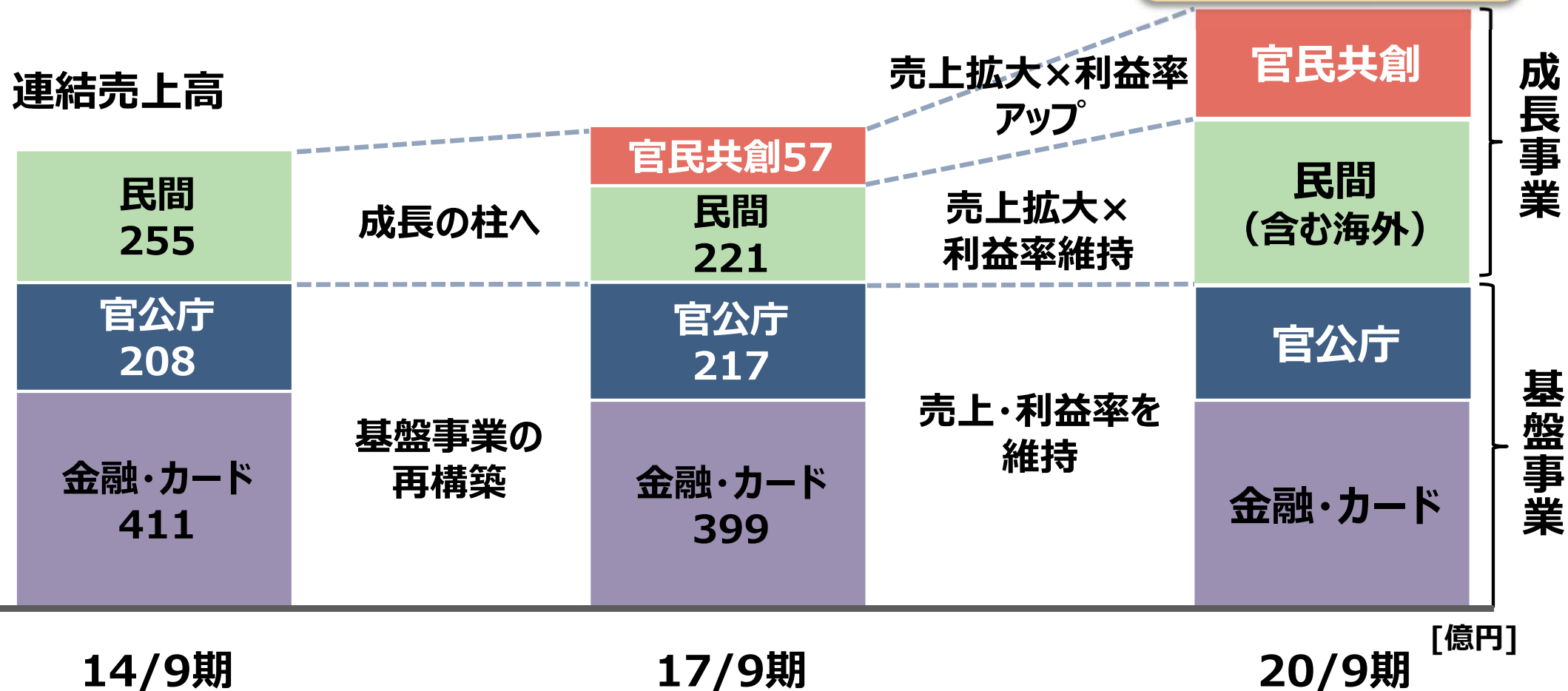
成長戦略

強みを活かした商品・サービス：社会課題・ニーズ × 新技術

売上拡大：営業体制・パートナー連携

利益率アップ：ストック型ビジネス・生産性向上

売上：+100億
利益率：1ptアップ



成長シナリオ①官民共創（官民横断領域）

成長の柱：売上増×利益率向上＝大幅増益

- TTC：官民横断領域、ストック型ビジネス拡大による利益率アップ
- ITS：スケールアップ戦略による成長拡大

ヘルスケア
・ウェルネス

人生100年、健康寿命、
健康経営、社会保障費抑制

エネルギー

需要縮小、小売自由化、送配電
分離、再生可能エネルギー

次世代
インフラ

自動運転、渋滞解消、民営化、
保守・更新最適化

総合IT

政府系金融機関・公益企業の
経営・業務・事業改革

パートナー連携
+
営業体制強化

ストック型ビジネス
(高収益率)

IT実装まで
(スケールアップ)

事業の芽(具体例)

ヘルスケア・ウェルネス

- 企業・配偶者向け健康活動促進サービス
- 介護事業者向け高齢者自立促進支援サービス



エネルギー

- メガソーラー事業
- 卸電力取引関連情報配信サービス
- 電力会社向け自由化対応の料金体系設計・システム構築



成長シナリオ②民間企業向け（含む海外）

規模拡大による成長：売上増×利益率維持

- TTC・ITSとも重点領域（先行投資）への集中で売上拡大
- 利益率は維持

企業ニーズ

働き方改革、生産性向上、データ活用、イノベーション

×

新技術活用

AI、ロボティクス、ブロックチェーン

先行投資による商品群

- HR-Tech
- RPA
- 製造業革新、建設・匠AI
- データ活用・分析、マルチクラウド
- 地域通貨 ほか



事業の芽(具体例)

HR (Human Resources) -Tech

- エントリーシート優先度診断サービス
- AIエンジン「HaRi」を活用した学生向け企業研究支援サービス
- 新人事BPO



RPA (Robotic Process Automation)

- 金融機関向けバックオフィス業務等、ロボットによる定型業務効率化
- 実証実験/導入支援、実運用



2020年財務目標

基盤事業は維持、成長事業を大きく伸長

グループ
連結

成長基盤・投資先行

新中期経営計画（2018-2020）
投資回収・業績伸長

売上高
経常利益

854

58

869

59

895

63

930

64

1,000

80

新中計
スタート

総仕上げ

2020/9期

売上高予想

1,000億円

経常利益予想

80億円

ROE水準

10%

15/9期

16/9期

17/9期

18/9期

20/9期

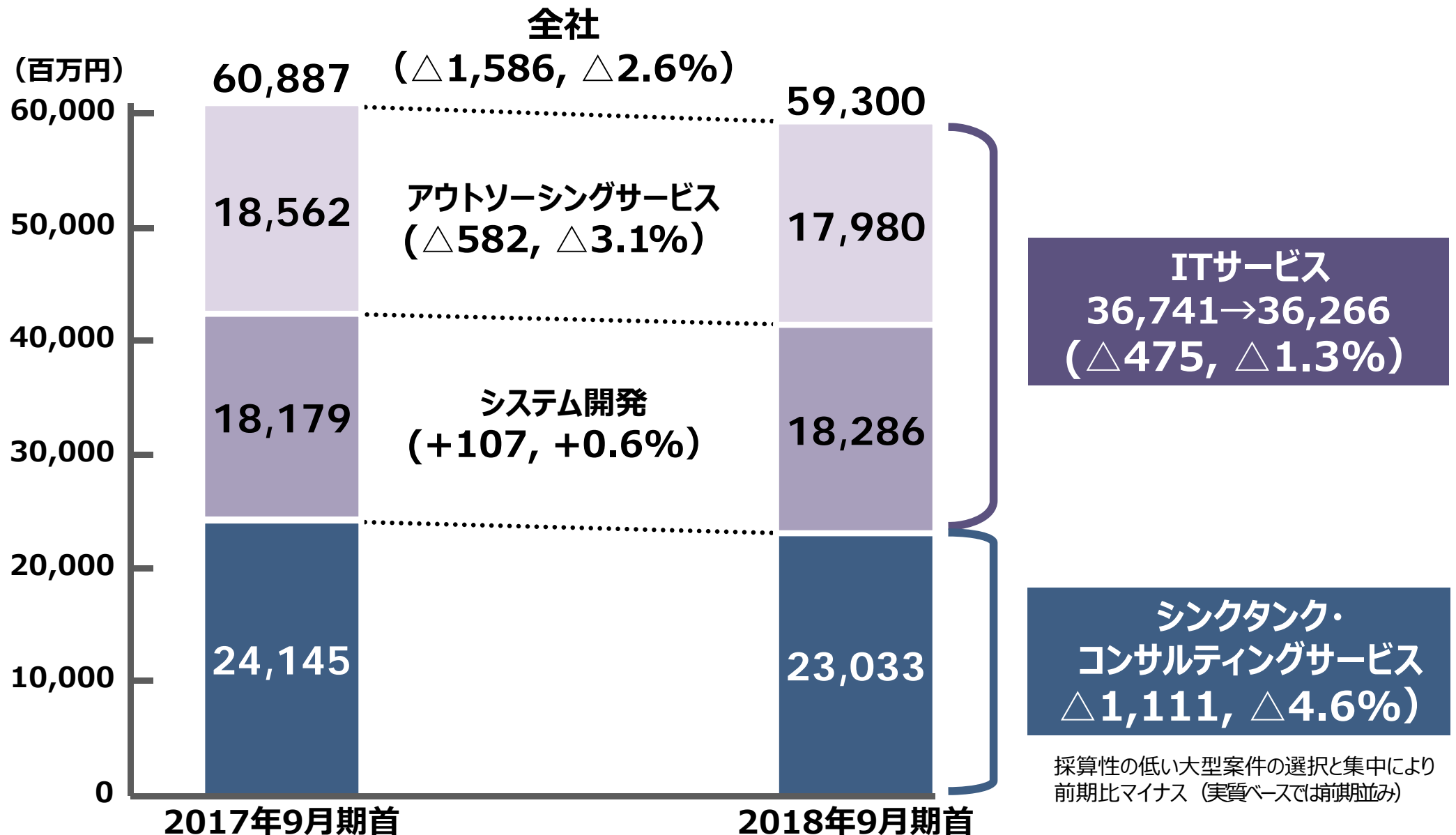
2017年10月31日公表

1. 2017年9月期決算

2. 中期経営計画（成長戦略と財務目標）

3. 2018年9月期業績予想

期首受注残高 <前期比>



2018年9月期 連結業績予想

売上高予想： 930億円 前期比 +35億円 (+3.9%)

- TTC：前期比 +12.6億円 (+3.9%) 重点事業への選択と集中
- ITS：前期比 +22.6億円 (+4.0%) グループ連携、各種新サービス

経常利益予想： 64億円 前期比 +1.4億円 (+2.3%)

- TTC：前期比 +4.7億円 (+23.2%) マイナス回復 + 戦略受注 + 官民共創
- ITS：前期比 △2.2億円 (△5.5%) メインフレーム廃止など将来投資負担増

当期純利益予想： 39億円 前期比 +0.6億円 (+1.7%)

2018年9月期 連結業績予想

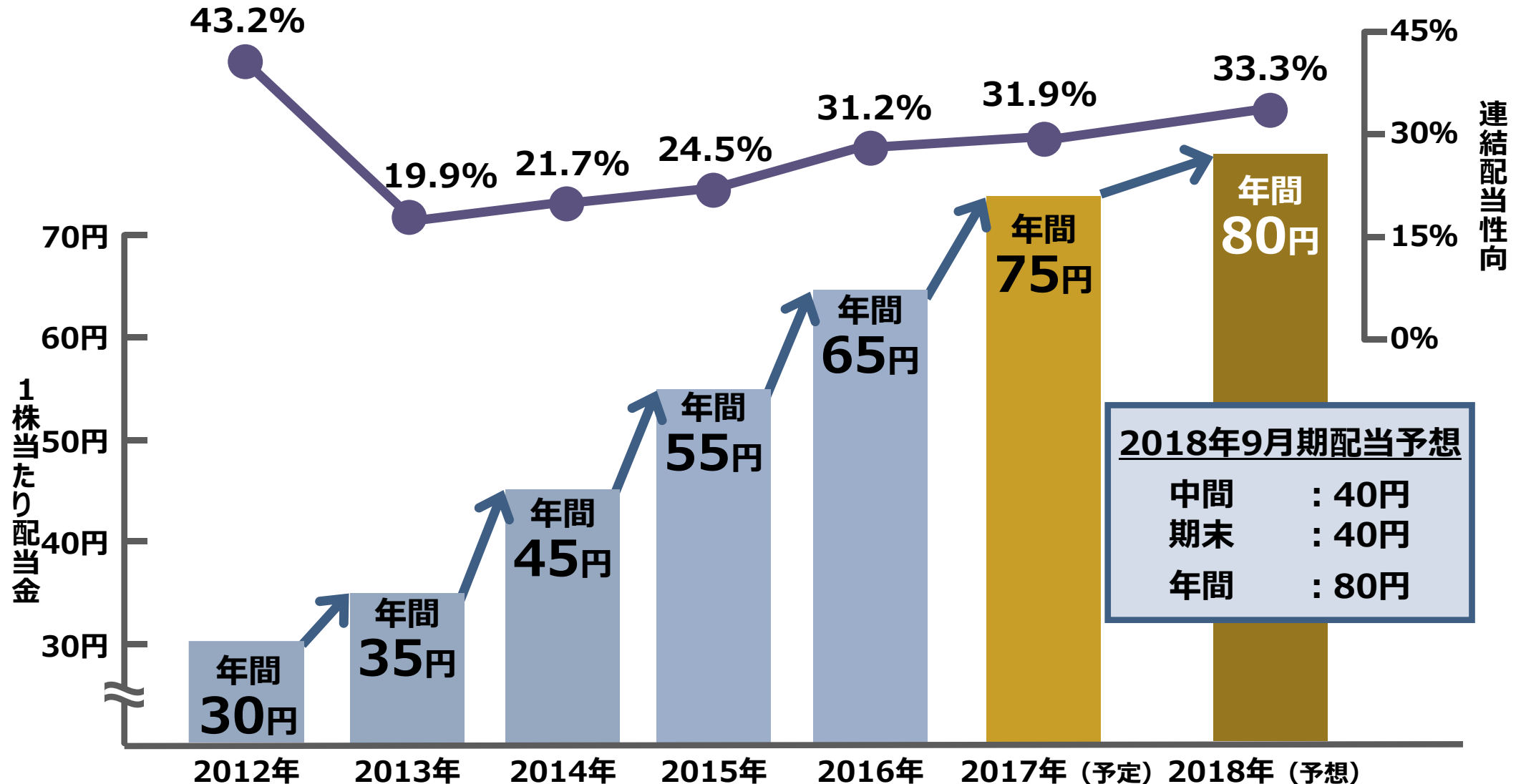
(百万円)

	2017年 9月期実績	2018年 9月期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	89,466	93,000	+3,533	+3.9%
シンクタンク・コンサルティングサービス	32,730	34,000	+1,269	+3.9%
ITサービス	56,736	59,000	+2,263	+4.0%
営業利益	5,731	5,900	+168	+2.9%
営業利益率	6.4%	6.3%	△0.1P	
経常利益	6,258	6,400	+141	+2.3%
シンクタンク・コンサルティングサービス	2,029	2,500	+470	+23.2%
ITサービス	4,125	3,900	△225	△5.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,833	3,900	+66	+1.7%
1株当たり当期純利益 (円)	235.08	240.06	+4.98	+2.1%

2018年9月期 配当予想

配当方針

安定的な配当を継続的に行いながら、業績や財務健全性のバランス等も総合的に勘案しつつ、配当水準の引き上げを目指す



将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。



株式会社三菱総合研究所

経営企画部 IR室

TEL	: 03-6705-6001
FAX	: 03-5157-2171
E-mail	: ir-info@mri.co.jp
URL	: http://www.mri.co.jp/